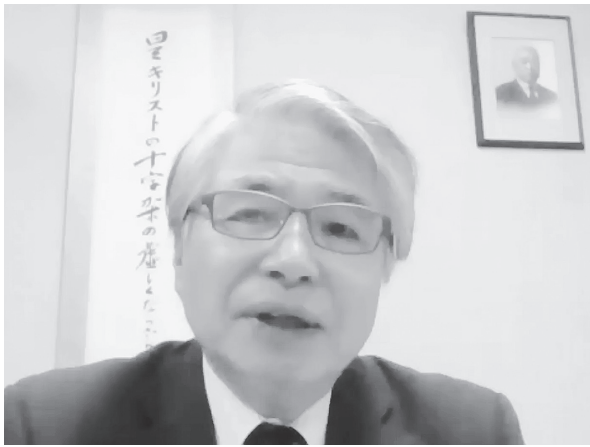




学長室からオンラインで

教師養成制度検討委員会主催

教師研修会

『贖罪論』を主題に

教師養成制度検討委員会主催の教師研修会が、3月2日の午後、オンラインにより開催された。「贖罪論」を主題として、教団立神学校である東京神学大学の芳賀力学長の講演が行われ、質疑応答を含めて約2時間の研修の時をもった。

教師養成制度検討委員会では、先に教団信仰告白と教憲から導き出される「教師論」をまとめたところであるが、その作業と並行して、教会に仕える教師たちのために、神学の基礎を学び直す研修の機会を設けることを計画していた。すでに1年前に主題と講師を決めて日程調整に入っていたが、新型コロナウイルスの感染拡大のため、延期せざるを得なかった。

感染防止のため、共に集うことを控える生活が続く中で、オンラインによる礼拝や会議の体制が整って来たのを受けて、教団としては初めてのこ

とであったが、教団事務局の全面的協力のもと、ズームを用いてオンラインによる教師研修会を開催することとなった。案内の期間はそれほど長くなかったにもかかわらず、予想を超えて多くの反響があり、当日は、講師と企画担当の関係者10名のほか教師84名と信徒2名、計96名がオンラインでつながった。

研修会は、菅原力委員長の祈禱で始まり、委員会の活動と今回の研修会の趣旨について短く説明された後、石橋秀雄教団議長の挨拶に続いて芳賀学長の講演へと移った。事前にA4判で12頁に及ぶ完全原稿が準備され、講師の了解を得て参加者全員に講演原稿を配信したので、画面を通して講師の顔と声に接しつつ、手元の原稿で内容の確認をしながら、講演に集中することができたのは幸いであった。

講演は、まず贖罪論への切り口として、日本のキリスト教史における最初の贖罪論争と言える海老名弾正と植村正久のキリスト論論争を取り上げ、海老名には真剣な罪の自覚が欠けているゆえに贖罪信仰が明確にならないことを批判した植村の言葉に耳を傾ける。そして、それは、目先の安定した暮らしに満足し、救われる必要を感じていない多くの日本人に当てはまり、モーセを拒絶した「エジプトのイスラエ

ル」に通じる心情であると指摘する。

以下、講演の流れを、大まかにたどってみる。日本人は創造者である神を知らないがゆえに、自らが、神に造られた者としての外的外で非本来的な生き方をしていることに思い至らず、聖書が「罪」と呼ぶ現実をも心理学的な自己疎外という仕方ではしか理解し得ない。しかし、罪を知らず、罪の贖いを理解しなごも、自らがさまざまな欲望の囚われの中にあり、そこからの解放を求めることにおいて、求道の入り口にあると語る。

さらに、人間の悲惨は囚われた無力さの中にあり、この隷属状態から解放されることによって救いが実現するという「贖い」解放」のストーリーは現代人にも分かりやすいはずだと言う。買い戻すという意味の「贖う」という比喩を用いて救済を語るとき、失われたものが、然るべき犠牲を払って本来の所有者に買い戻される物語として展開されることとなり、新約聖書は、私たちを買い戻してくださる方としてイエス・キリストがお出でになり、そのために、ご自分の命を犠牲にしてくださいったことを証していると言った。

ここで講師は、冒頭に触れた贖罪論争が、当時最新と謳われた歴史批評学を取り入れた自由な聖書解釈によって生まれた新神学の影響を受けたものであったことを指摘し、新約聖書学者である青野太潮氏の主張と対論する形で、キリストの十字架の贖罪としての意味を浮き彫りにする。贖罪論は、不条理なこの世の「苦難」の問題を解決できないとし、十字架は苦しむ者と共にいるキリストのインマヌエルの現実としてのみ強調する青野氏に対して、苦難と死が復活へと逆転される恵みの一方通行の道を担保してくださった方の贖罪のインマヌエルであることの意味を指し示す。

さらに講師は続ける。一宗教改革は、根本的な裁きと根本的な恵みの認識において、罪の徹底性と恵みの徹底性の認識において優れていた。真逆の認識が重なるところに仲保者イエス・キリストの存在がある。徹底的に自分の罪を認識し、正しく自分に絶望することを知信信仰は、自分自身の外、キリストの内に新しい生命の出発点を見いだす。ルターが言うように、私たちは義人にして同時に罪人であり、絶えず赦しを与えてくださるキリストとの関係に依存し、感謝をもって生き続けるほかない。

講師はまた、当委員会が作成した「日本基督教団の教師論」に触れて、教団信仰告白と教憲に基づいて教師を立てるという共通の出発点が確認されたことを評価し、聖書

信仰や信仰義認、贖罪の信仰等、基本的な教理に関して一致していることの大切さを指摘する。最後に紹介された、獄中で聖書を読み十字架のキリストと出会うことで救いの愛に触れ、さらにキリストを知りたいと願って神学書の差し入れを求める一人の受刑者との触れ合いの話は、贖いの恵みの深みに触れた魂の生きた証として心に響いた。

講演後の質疑応答は、オンラインゆえの課題や限界を感じさせるところもあったが、どのような問いに対しても、忍耐と愛をもって丁寧に応じた講師の誠実な対応に心から感謝したい。予定の時間となり、委員会の東野尚志書記の祈禱をもって閉会となった。

研修会の後、事務局が実施したアンケートには73通もの回答があり、内容的にも良い学びとして受けとめられたことが確認できた。また感染症対策のために、やむを得ず、オンラインでの研修会となったが、そのお陰で、地域に限定されず多くの方の参加が可能となり、今後もオンライン形式の研修の機会を求める意見も多く見られた。オンラインの限界だけでなく、大きな可能性も感じる学びであったことを感謝したい。また何より、丁寧に準備して奉仕された講師の芳賀力学長に重ねて感謝したい。

(東野尚志報)

地震災害報告

【東北教区】福島県中通りに大きな被害

2021年2月13日午後11時8分、福島県沖を震源とする最大震度6強の地震が東日本を襲った。幸いにも人的被害が少なかったからか、数日後にはこの出来事は報道

福島県中通りと呼ばれる中部地域では建物にも大きな被害が出ている。郡山細沼教会は、10年前の東日本大震災で生じて修復した外壁の亀裂が広がり、コンクリート製の大きな煙突は建物固定していたアンカーが外れ倒壊の危険が生じている。内部も壁の剥離崩落が多数あり、玄関部分は開閉ができないほど。パイオルガンも破損した。このため、建物内のみならず、敷地内への立ち入りを禁止し、この地震以降近隣の郡山教会で合同礼拝を捧げている。須賀川教会では、パイオルガンのパイプが多数はずれ、へこみなどの損傷もあるため、大規模な修理が必要となつてい



外壁の亀裂が広がった郡山細沼教会

会でも建物内の壁の崩落があり、名取教会は塔部分損傷により雨漏りも生じている。その他にも、修理見積もりを依頼するほどの被害が多数出ている。

教会に連なる信徒宅においても同様だが、数日経てから明らかに被害を口に出すのがはばかられるのか、「実はうちも被害があつて…」という声も後から聞こえてくる。

東北教区では、即応は難しくとも丁寧な声を聞き取って、東日本大震災や一昨年の台風19号被災時と同じように、被害に遭った教会や信徒宅に対して見舞金を送るべく、教区内での募金を始める。

(高橋真人報)

各教区総会開催予定のお知らせ

(4月15日現在)

- ◎北 海 5月28～29日、会場分散・オンライン
- ◎奥 羽 書面開催検討中
- ◎東 北 書面
- ◎関 東 書面
- ◎東 京 書面
- ◎西東京 書面
- ◎神奈川 6月25～26日、清水ヶ丘教会
- ◎東 海 5月25日13時～26日15時、池の平ホテル
- ◎中 部 書面
- ◎京 都 書面開催検討中
- ◎大 阪 書面表決検討中
- ◎兵 庫 書面
- ◎東中国 書面
- ◎西中国 書面
- ◎四 国 書面
- ◎九 州 書面
- ◎沖 縄 6月27日16時30分～19時、沖縄キリスト教センター

▼伝道対策検討委員会▲

機構改定スケジュールについて協議

3月5日、オンラインで、第10回教団伝道対策検討委員会を開催した。前回記録承認後、岸俊彦教団伝道推進基本方針展開検討小委員長は、「全国伝道推進献金」の中間報告をしたほか、『信徒の友』の「日本伝道の推進を祈る日」の記事につ

いて、今後教団公式ホームページに掲載する予定であることを述べた。次に、久世そらち教団機構改定検討小委員長は、『教団機構改定に関する検討資料』について

協議事項として、教団の伝道の具体的な推進のために、教団が出版局の本や『信徒の友』を買い取り（献金などによる）、小規模教会や教師検定試験受験者等に配付することについて話し合ったところ、次のような意見が出された。『信徒の友』を配られても、どのよう

有するために、ぜひ『信徒の友』を全教会・伝道所に配付してほしい。協議の後、継続審議として。続いて、今後の教団機構改定の検討スケジュールについて協議したところ、次のような意見が出された。『通常通り教団総会を開催する場合だけでは、開催できない必要がある。協議の後、開催したとしても時間的

な制約等があることが考えられるので、教団総会議員数の減員の議案のみを分割して審議してほしいか。『機構改定議案は分割しないで、全体を上程してほしい』、『機構改定については教区での議論が深まっていない』、『沖縄教区との関係のことも考え、丁寧に進める必要がある』。協議の後、今後さらに検討することとした。

（雲然俊美報）

▼社会委員会▲

28団体に一件につき10万円を支援

第8回社会委員会は、3月18日にオンライン会議として開催した。前回（1月26日開催）において、コロナ禍で行政支援の行き届かない困難のある方々に対する支援活動

金子直子委員による開会礼拝の後、前回議事録を承認して協議に入った。まず、一般の支援に関して中部教区社会部より意見書が届いていることについて、これに対し

や枠組みが伝わっておらず、受けとめかたに相違があることから、その点の説明を含む文書を整理、返答することとした。次に、10教区から紹介された支援活動団体28件について、その働きを確

今期中にまだ開催していない社会委員会議にについては次回委員会で検討することとし、5月10日に第9回委員会をオンライン会議で行う。また最後に、日本キリスト教社会事業同盟推薦委員が4月から交代するため

当初の予定の通り、まびくら運営委員会は2021年3月末での閉所を決定し、3月20日に閉所式を開催した。新型コロナウイルス

（大塚 忍報）

▼牧会者とその家族のための相談室委員会▲

コロナ禍による影響を踏まえつつ

第7回目の牧会者とその家族のための相談室委員会は、オンライン会議で、3月18日に行われた。前回の7月の委員会から約9ヶ月期間が空いた

電話相談も一定の件数で推移し、内容も重要且つ深刻な内容を含むものが多く見られるようになってきた。牧会者とその家族ならではの複雑な

望はあるが、現段階では開催の是非を判断出来ないで、祈りつつ道を開かれるタイミングが示されることを待っている状態である。どんな試練の時にも、

希望はあるが、現段階では開催の是非を判断出来ないで、祈りつつ道を開かれるタイミングが示されることを待っている状態である。どんな試練の時にも、

希望はあるが、現段階では開催の是非を判断出来ないで、祈りつつ道を開かれるタイミングが示されることを待っている状態である。どんな試練の時にも、

事務局報

船田雄一（無任所教師）



21年1月26日逝去、76歳。栃木県生まれ。70年東京神学大学大学院卒業。72年より輪島、小岩、遠州、遠州栄光教会を85

担任教師）21年3月7日逝去、71歳。熊本県生まれ。92年東京神学大学大学院卒業。86年より上倉田、六ツ川、羽沢教会を牧会し、17年隠退。遺族は姉・入江陽子さん。

21年3月26日逝去、70歳。栃木県生まれ。84年東京神学大学大学院卒業。86年より上倉田、六ツ川、羽沢教会を牧会し、17年隠退。遺族は姉・入江陽子さん。

小林 聖 伝道所廃止 番町出合いの家 教会通信先設定 天下茶屋 〒545-0053 大阪 市阿倍野区松崎町3-10-7 大阪常磐教会 気付 教会通信先削除 赤池

年まで牧会。遺族は息・西山信さん。 柏田政治（新津教会主任） 福田 栄（隠退教師）

を牧会。遺族は弟・岩本光之さん。 福田 栄（隠退教師）

辞（兼主）松村さおり “ 就主）松村さおり 長崎平和記念 辞（主）栗山尚典 “ 就代）福田英樹 教師復職



多くの祈りに感謝 2018年7月に起こった西日本豪雨の災害支援のために、2018年12月にまびくら（まびくら）のぬくもりを”は設置された。まびくらは、東中国教区、岡山キリスト災害支援

▼まびくら閉所式▲

多くの祈りに感謝

ウィルスの感染拡大防止のために、会場にはまびくら運営委員、スタッフ、被災者の25名が集まり、他の方々はオンラインで視聴していただく方法をとった。礼拝、活動報告が行われた後、沢知恵さんのオンラインコンサートが開催された。これまでまびくらを訪れてくださった方は1万53名（ボランティアに

牧会者とその家族のための電話相談

毎週月曜日 10時～16時

（12時～13時は休憩）

03-6228-0016

【相談用メール】

24時間いつでも

past.uccj@gmail.com

*受理したメールは、1週間以内に回答致しますが、相談内容・件数等によっては時間を要する場合もありますので、ご了承ください。

正教師登録

村尾政治、村尾いづみ（2020・11・23受按）

正教師転入

（第11回常議員会承認）

教師異動

八丈島 辞代）藤盛勇紀

稲取辞（兼主）佐久本正志

“ 就代）江口 充

坂出 辞主）山森風花

ユニオン日本語教会

辞外）上田容功

豊岡 辞代）山本桂子



愛泉教会と幼稚園



G・E・キョククリヒ女史

社会福祉法人愛の泉の泉の起源は、1945年秋に遡ります。戦前、戦中とアメリカの福音教会の教育宣教師として奉仕したドイツ人、ゲルトルト・エリザベート・キョククリヒ女史が、戦後、埼玉県礼羽村（現在の加須市土手）の岡安ゴム工場内の

が、それ以上に大切にしたいのは、地域との連携でした。現在に至るまで、愛の泉は地域の多くの方々の支援によって事業を続けており、キョククリヒ女史は加須市の名誉市民として記憶され、キリスト教保育を続ける保育所は地域の次世代を担う人々を輩出してきました。

キョククリヒ女史は次のように述べています。「愛の泉は私どものまぼろしが現実となったものであります。このまぼろしは深い使命感によって生まれました。深い使命感は専門的知識と真実の愛によって働いていきます。神は人類を愛しておられます。ゆえ、私たちは社会をまた人間を研究して自分のすべての力、ことにイマジネイティブ（想像

伝 道 報 告

伝道の
TOMOSHIBI ともしび

七十二人は喜んで帰って来て、こう言った。…イエスは言われた。「あなたがたの名が天に書き記されていることを喜びなさい。」
ルカによる福音書第10章17節～20節

想像力と創造力を働かせて

社会福祉法人愛の泉 理事長 潮田 花枝

工員宿舍で被災孤児収容計画を岡安寿々、岡安正庫と共に開始したので。それから75年が経ちました。現在は、乳児院、児童養護施設、保育所、養護老人ホーム、特別養護老人ホームを中心に、5施設18事業を展開する社会福祉法人に成長しています。

キョククリヒ女史はドイツやアメリカの教会の協力を得て、この事業を展開しました。これらの理念の土台となっているのが、私たちのキリスト教主義です。愛の泉の誕生と同時に、礼拝が始まり、今日の愛泉教会となりました。この教会で毎朝職員礼拝が行われ、日曜日には法人関係者のみならず、地域の方々と共に礼拝が捧げられています。

わたしたちは先人の志を受け継ぎ、しかし新しい、多様化する時代の要請に誠実に応え、変えてはならないものを確かに保ち、変えねばならないものについては勇気をもって決断し、新しく歩み出したいと考えています。

今年度、老朽化した特別養護老人ホームの改築が行われます。全室個室で、感染症や自然災害に対して強い、そして生きる喜びにあふれた施設になるように皆で祈り、準備が続けています。全国の教会の皆様のご支援とお祈りをいただきたくお願い申し上げます。

◆世界宗教者会議◆

「憲法9条とアジアの平和」

第7回世界宗教者会議が「憲法9条とアジアの平和―沖縄からの祈り」を主題にして3月5～6日に開かれた。沖縄キリスト教大学を会場に沖縄に集まる予定だったが、コロナ禍のために東京と沖縄とを基地局にしてオンライン会議によってギリフト教、仏教諸派、イスラム教、ユダヤ教、ヒンズー教などの各宗教者14カ国、120名を超え人々が参加して講演や発題、協議の時を持ち、共同声明を公にした。

日本国憲法9条の精神は、日本だけでなくアジアの、また世界の正義と平和を実現する基本となる精神であり、戦争のないう世界、一切の武力を放棄して平和を造り出す社会を実現することは、聖書の宗教だけでなく各宗教の教義においても根幹をなす教えであることがこの対話の機会を通して明らかにされる。沖縄の状況から最近の東アジアの状況を見ると、米中の対決構造が明らかになり核兵器や宇宙衛星、AIを駆使し、覇権を競い合う緊迫した動きが鮮明に見える。この動きに抗して憲法9条の精神の土台を堅く固める宗教者の責任と連携、祈りが重要であることが確認された。教団も加わっているNCCを核にして、この会議が続けられていることの意義は大きい。（秋山 徹報）

告 告

教師検定委員会では、教師検定規則第6条⑥に基づき、同規則第3条6号対象者所謂Cコース受験者）に対する認定面接を左記のように実施します。2022年春季試験以降に新たにCコース受験を志願される方は、本委員会の指定した書類を2021年7月21日（水）までに提出いただき、左記日程の面接にご出席ください。なお、面接要領・提出書類用紙については、百円切手を同封の上、本委員会事務局に直接お申込みください。

★認定面接（オンラインによる）

日時 2021年9月16日（木）午後
なお、認定面接予定者には、書類受付後、案内通知を送付します。

2021年3月27日

日本基督教団教師検定委員会

〒169-0005

東京都新宿区西早稲田2-3-18-31
電話 03-3202-0546



相原 孝至さん

神を賛美する民の一員として



1944年満州生まれ。宇都宮教会員

小学校高学年の頃、満州から日本に引き揚げる際に多くの乳呑児が死んでいった厳しい状況を両親から知らされ、子どもながらも、当事者であった自分自身がその一人であったかもしれないと思い、初めて自らの死を自覚した。

両親は文房具店を営んでいた。それは偶然にも深町正勝牧師（当時）が牧する静岡教会の目の前であった。信仰への道は不思議な仕方では確かに備えられていた。

高校生になると自我に目覚め、人間とは何かと繰り返し問う日々となった。そこで静岡教会に飛び込んでみた。高校生会が盛んだったこともあり、すぐに教会に馴染んだ。

大学進学で上京する前に、主イエスを救い主と信じ、洗礼を受けた。

大学卒業後、宇都宮市にある会社に就職。宇都宮教会に通い始めて、そこで青年会を通して出会った道子さんと結婚。二男一女に恵まれた。

航空機製造の品質管理や生産技術部門での勤務は激務であったが、教会から離れることはなく、約30年以上、会計役員としても奉仕して来た。10年前の東日本大震災によって、教会は会堂建築を強いられた事となった。そのことは、教会について、また礼拝について改めて考えさせ

られ、学びを深める機会となった。

愛唱聖句は詩編102編19節。「後の世代のために、このことは書き記されねばならない。『主を賛美するために民は創造された』」。

思春期を迎える時、自らの死を自覚し、その後、人間とは何かと自問する中で、信仰の道へと導かれた。礼拝における御言葉を通して、自らが主なる神を賛美するために創造された民の一員である喜びを噛み締めつつ、聖書を毎日愛読することを樂しみとし日々を歩んでいる。

新年度が始まりました。新型コロナウイルスの世界的な感染の広がりは一向に終わる見込みはなく、勢いを強めさせています。教団事務局の働きもこれによって大きく変わり、各委員会参加者の日程や宿泊、旅費などの調整や手配の事は、オンライン会議のための準備や日当の算定や書類の送付といった業務になっています。各教会の日常の働きも、事態の対応に即して懸命の工夫を重ねていることと思います。

このようなときに、思いがけ

託されたタラント

れたのです。石井さんは昨年9月21日に90歳の生涯を終えて召されましたが、生前よりその意思を公正証書によって公にし、牧師に託しておられましたので、遺言を執行すべく牧師と親

（教団総幹事 秋山 徹）

しかった遺された友人とが共に教団を訪れてくださいました。石井さんは生前TBS放送の第1期のアナウンサーとして、テレビ放送開始初期の時代に活躍された方とのことで、社会的な問題への関心も強く、不遇な状況におかれた人々や状況に対して社会の目を向ける働きをされたとのこと、その志を教団の将来に託されたということでしょう。この託されたタラントを、どのように有効に用いるか、この課題が与えられています。